

まさに

生きてる

アート



MOSAÏCULTURES
INTERNATIONALES
HAMAMATSU 2009

モザイクカルチャー 日本初上陸

in 浜松

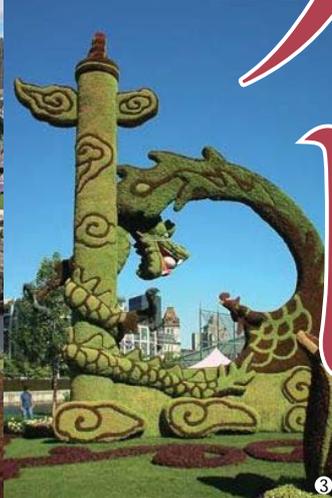
花と緑のコラボレーションで多彩な立体アートを生み出すモザイクカルチャー。この秋、日本初となる「浜松モザイクカルチャー世界博2009」（愛称・浜名湖立体花博）が浜松市で開催される。圧倒的なスケール感で、生きた植物が豊かな表情を見せてくれる。

ヨーロッパの庭園造りから 生まれた新ジャンル

モザイクカルチャーは、近世の庭園芸術のひとつとしてヨーロッパで誕生した。ルネサンスを契機とした庭園空間の三次元的表現に伴い、フランスやイギリスでカーペットペーディング（カーペット模様をあしらった花壇づくり）として定着し、20世紀後半にはカナダのケベック州を中心に大きな芝生の景観に草木を立体的にアレンジする技法へと発展する。花や葉の色彩美を活かした大型の像で都市景観を演出するこうした技法は人々の共感を呼び、今や世界中に広がっている。

長は、生きた植物を「根がついたまま、植え込む」ことである。まず、人、鳥、動物、風景などの創造的モチーフを描いたデザイン画を起こし、ワイヤーフレームとメッシュで骨格を形成。表層部分を特殊なマットで覆い、セル状の連結ポットで育てた花や緑を一本一本植え込んでいく。

モザイクカルチャーは、植物を立体的に刈り込んで作る「トピアリー」とは違い、実に趣向が凝らされた芸術作品。2D（平面型作品）と3D（立体型作品）の2つのスタイルがあり、植物のみならず、生命力が感動と癒やしを与えてくれる。



2003年カナダ出展作品

2000年カナダ出展作品

モザイクカルチャーができるまで

1

人、鳥、動物、風景などモチーフをデザイン画に起こす



2

ワイヤーフレームとメッシュで骨格を形成して土を入れ、表層部分をマットで覆う



3

セル状の連結ポットで育てた植物を一本一本植え込んでいく



4

刈り込んで仕上げ、完成



2000年カナダ出展作品

JR浜松駅北口の展示作品

2006年上海出展作品

モザイク・クロニクル

19世紀後半
フランスのリヨン一帯で「花と緑の立体園芸」として「モザイクカルチャー」の用語が使われ始める。イギリスの王立植物園キューガーデンでも採用され、庭園造りの園芸技術として確立

20世紀後半
カナダのケベック州を中心に景観の立体アレンジ技法へと発展

2000年
「第1回モザイクカルチャー世界博」(カナダ・モントリオール市)開催。35都市14カ国参加

2003年
「第2回モザイクカルチャー世界博」(カナダ・モントリオール市)開催。51都市32カ国参加

2006年
「第3回モザイクカルチャー世界博」(中国・上海市)開催。55都市15カ国参加

そして2009年は...?

開花や紅葉など 生長とともに表情が変化

この手法ならではの見どころは、開花期には可憐な花を咲かせたり、赤や黄色に紅葉したりといった表情の変化だ。こつした、移ろいの美を実現するためには、個々の植物の特性を踏まえた園芸・造園技術が欠かせない。骨格が複雑で緻密な作品ほど制作が難しく、イメージ通りに仕上げ、なおかつそれを維持するためには細心の管理が必要だ。

今秋日本初開催となる「浜松モザイクカルチャー世界博2009」では、事前に起こされたデザイン画をもとに、

「新しい文化の創造と世界平和」を基本理念に第1回モザイクカルチャー世界博がカナダのモントリオール市で開催されたのが2000年。以後3年ごとにモントリオール市、中国の上海市と受け継がれてきた。そして、ついに今年が日本。抜けるような秋空を背景に、趣向を凝らしたさまざまなアートが、ここ浜松の地に立ち並ぶ。

使用する植物百数十種類以上を地元の契約農家が丹精こめて栽培。開幕に合わせ作品を制作する。



国内外25カ国・地域、
97都市・団体から
91作品が集結



日本初、テーマは
「人と自然のシンフォニー」



浜松市が出展する「微笑みのハーモニー」のデザイン画



「浜松モザイクカルチャー世界博2009」開催

9/19 土 ↓ 11/23 月祝

日本初となる「浜松モザイクカルチャー世界博2009」。世界各国から選りすぐりの立体アートが、浜名湖畔の「はままつフラワーパーク」に集結する。ホストシティ、浜松では、市民の手によるモザイクカルチャーも街のあちこちに登場し、歓迎ムードに沸いている。

温暖な気候に恵まれ、花の栽培が盛んな浜松市。生産量日本一を誇るガーベラをはじめ、フリージアや菊などさまざまな花が全国各地に出荷されている。こうした地域特性とものづくりの風土を世界にアピールしようと、中国・上海市での「モザイクカルチャー世界博2006」で次回開催候補地に手を挙げた。「人と自然のシンフォニー」というテーマが国際モザイクカルチャー委員会に評価され、世界5都市の中から選ばれた。

会場となる「はままつフラワーパーク」には、国内外25カ国・地域、97都市・団体から91作品が集結。開会式には名誉総裁の秋篠宮殿下をお迎えし、66日間のイベントの幕が開く。

期間中は多彩な催しが企画され、10月には展示作品を審査して各賞を決定するコンペティションも行われる。

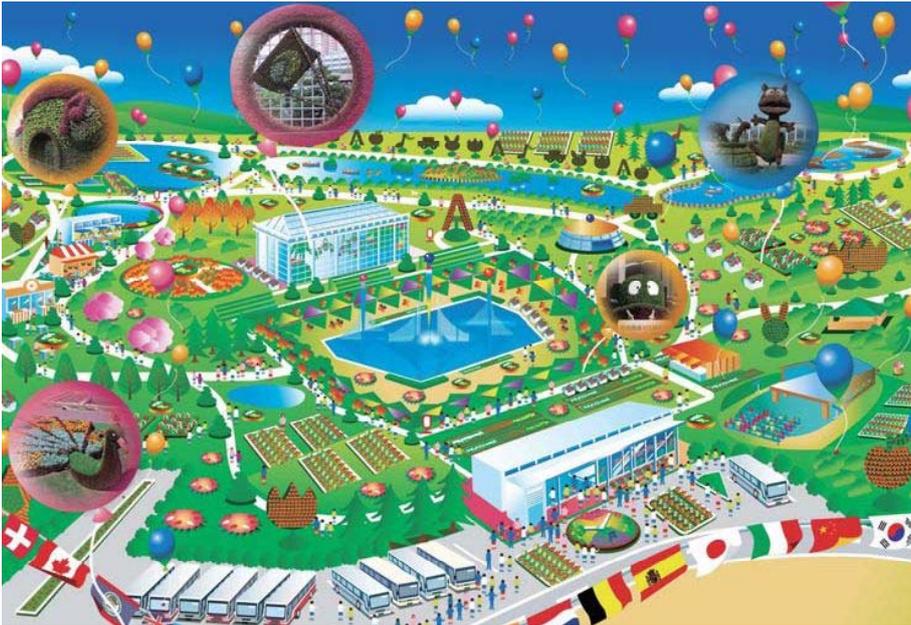
市民ボランティアが活躍

小さな子どもから高齢者まで安心して楽しめるよう、約800人の市民ボランティアがスタンバイ。すでにモザイクカルチャーの制作教室を開いたり、有志の作品が街角に登場したりして盛り上がりを見せている。

爽やかな秋の浜松で、驚きがいっぱいのモザイクカルチャーが待っている。



花いっぱい浜松を楽しんでもらおうと汗を流す市民たち



会場となる「はままつフラワーパーク」(イメージ図)。開催期間中にはさまざまなモザイクカルチャーが立ち並び、ワンダーランドに変身する

開催中の主なイベント

中部航空音楽隊コンサート
9/19(土)

越中八尾おわら舞台公演&園内流し
9/19(土)・20(日)

ナショナルデー&出展都市デ
ススペシャルステージ
9/19(土)~23(水・祝)
10/14(水)・17(土)・18(日)
11/14(土)・22(日)

出展都市PR・物産展
9/19(土)~24(木)
10/15(木)~20(火)
11/18(水)~23(月・祝)

大温室「クリスタルパレス」企画展
フラワー・ジグソーパズル
9/19(土)~10/9(金)
緑の輪 ~未来をつなぐ庭~
10/10(土)~11/5(木)
Garden in the ~心に庭を~
11/6(金)~23(月・祝)

世界押し花絵芸術祭
「杉野俊幸&杉野宣雄特別作品展」
9/25(金)~10/5(月)

世界チャンピオン・城所ケイジ
「チェーンソーカービングショー」
10/11(日)・12(月・祝)

イベント日程や内容は、変更になる場合があります

会場までのアクセス

鉄道+バス

JR東海道・山陽新幹線「浜松駅」から、遠鉄バス「フラワーパーク停留所」下車すく。バスの所要時間:約40分、運賃500円(往復割引あり)

車+バス

東名高速道路浜松西ICから、市指定の臨時駐車場。駐車場からは無料シャトルバスで会場へ。臨時駐車場料金:1000円 バスの所要時間:約10分

はままつフラワーパーク
浜松市西区館山寺町195



まだまだ盛りだくさん! 詳しくはホームページで → <http://mih2009.com>

問い合わせ: 浜松モザイクカルチャー世界博2009協会事務局 TEL 053-457-2298

チケット情報

TICKET INFORMATION

大人(18歳以上60歳未満)
中人(15歳以上18歳未満)
小人(6歳以上15歳未満)
プラチナ(60歳以上)
幼児(未就学児)は無料
お得な「前売券」は9/18(金)までの販売! 首都圏の旅行会社やコンビニエンスストアでも入手できます。 詳しくはホームページで! http://mih2009.com

券種	区分	料金(円)	
		前売	当日
普通入場券	大人	1600	1800
	中人	800	900
	小人	500	600
	プラチナ	1100	1300
ペア割引入場券 (1冊2枚つづり)	大人	3000	3400
	中人	1500	1700
	小人	900	1100
	プラチナ	2000	2400
全期間入場券	大人	4300	4600
	中人	2100	2300
	小人	1500	1600
	プラチナ	3200	3400